

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373000989
事業所名	介護支援センターつばさ グループホーム事業部

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	地域に開かれたホームであり、相互の協力と信頼関係が構築されている。地域の要請に応え、ふれあいサロンへの出前講座を行い、認知症サポーター養成講座の講師も務めている。消防署の協力でAED救急救命講習や防災訓練を実施しているが、これらにも地域住民の参加がある。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	家族や社会福祉協議会（地域包括支援センター）の職員、民生委員、区長、老人会代表等に、ホーム関係者が加わって運営推進会議を開催している。ホームからの状況報告と活動報告に続いて、参加者がそれぞれの立場から意見を述べ、活発な意見交換が行われている。ホームの課題（認知症カフェの低迷等）についても、真剣な討議がある。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	運営推進会議の行政枠として、市の社会福祉協議会（地域包括支援センター）の職員が毎回参加しており、ホームの状況を市に伝えている。介護相談員を受け入れており、毎月2名の介護相談員がホームを訪れている。利用者との面談を行い、ホームに連絡すべき事項は「専用ファイル」を活用して伝達されている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	家族はホーム運営に協力的であり、ホーム行事の鍋パーティーやスイカ割り、運動会、おいでん花火大会等には、多数の家族が集まる。毎月家族のもとに「つばさだより」が届けられている。撮り溜めた利用者の写真の中から、厳選して掲載し、利用者個々の情報（日々の様子や医療機関受診の記録）についても記載している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
4. 市町村との連携	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎